



第497号

2022年 10月号

スズキ労連 50th anniversary 1972-2022スズキ労連は2022年
9月で結成50周年です。スズキ関連労働組合連合会
静岡県浜松市南区増楽町20
電話(053)447-3079 FAX.053-440-2838発行人 武藤憲司
編集人 鈴木将人

全ての議案が可決! 第51回定期大会

第50・51期大会スローガン

みんなでチャレンジ!築こう、新たな未来



大会会場風景

9月18日(日)にホテルクラウンパレス浜松にてスズキ労連第51回定期大会を開催し、すべての議案・報告が承認されました。

本大会は新型コロナウイルスの影響を考慮し、ハイブリッド開催しました。大会は、武藤会長の執行部代表挨拶の後、報告承認事項・議件を提案し、いずれも満場一致で可決されました。ハイブリッド開催となりましたが、参加者の皆さんのご協力により滞りなく開催することができました。コロナ禍ではありますが、決定した議案に基づき1年間の活動を推進してまいります。引き続き皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

大会議長団 左:古橋 あゆみ(スズキ労組湖西支部)
右:深谷 貴子(平岡ボデー労組)

大会での感染拡大防止策として

- ・マスク着用、室内換気
- ・アクリル板の設置
- ・参加規模の縮小、開催時間の短縮
- ・WEBの活用
- ・参加者の検温、間隔の確保
- ・座席、出入口の制限
- ・手指のアルコール消毒
- ・机、椅子、マイクなどの消毒実施

等を行った上で開催しました。

【参加者】

代議員146名(男性110名、女性36名)
内WEB参加69名、委任状1名
執行部34名 会計監査2名 書記2名

【報告承認事項】

- 1)第50期活動経過報告
- 2)第50期会計決算報告
- 3)第50期会計監査報告

【議件】

- 1)第51期予算(案)の件
- 2)顧問委嘱の件

【各種委員】☆印は各委員長(敬称略)

◎資格審査委員:4名

- ☆伊藤 真将<スズキ労連中執>
- 増田 晴彦<ベルソニカ労組>
- 大塚 司<スズキ部品秋田労組>
- 河合 秀政<スニック労組>

◎議事運営委員:4名

- ☆中山 雅章<スズキ労連中執>
- 大羽 昇<小楠金属・熱処理労組>
- 塚本 弘<スズキ部品富山労組>
- 奥村 直也<スズキ新潟販売労組>

◎議長団:2名

- 古橋 あゆみ<スズキ労組湖西支部>
- 深谷 貴子<平岡ボデー労組>

◎書記:2名

- 鈴木 里美<スズキ部品製造労組>
- 大久保 恵子<スズキ労連>

スズキ労連 武藤会長あいさつ(要旨)

〈はじめに〉



スズキ労連 武藤会長

日頃よりスズキ労連の活動に対し、ご理解とご協力、さらには地域での積極的な活動参加を頂いておりますことに執行部を代表して感謝申し上げます。

さて、本日の大会は、前期（50期）1年間の活動を検証するとともに、第51期の具体的な取り組みのスタートを切る大会です。そして本来ならこの51回大会は、ぜひ代議員の皆さんが、こちらの会場に全員参集での大会を予定していましたが、コロナ禍も完全に収束しない環境が続く中で、WEB併用開催という判断をさせていただきました。本日は約4割の代議員の皆さんがWEB代議員として出席し、全国各地の拠点を繋いでの開催となっております。

この激しい環境変化の中で、第51回大会を迎えるにあたり、現状認識と課題認識を新たにしながら、この難局をみんなの知恵と行動で乗り越え、その強い思いを確認していく場としていきたいと思えます。

去る7月の参議院議員選挙では、はまぐち まこと参議院議員が全国比例で2期目の当選を果たすことができました。

情勢は大変厳しいものでしたが、私たちの代表が議席を獲得できたことは、率直に喜びたいと思えます。

〈社会経済・産業の現状認識〉

さて、今日現在もコロナウイルスの収束は見通せず、様々な制約の中で過ごしてきた社会生活も2年半が経過しています。

日本中どこでもマスク姿は今や普通の光景であり、会社内でも、買い物先でも消毒や体温測定、そして食事をするにも黙食という不自由さが今なお続いています。

政府は、新型コロナウイルスの全国感染「第7波」の収束を見据え、国内経済の立て直しを重視するため、感染者の療養期間の短縮や、行動制限の緩和、また、感染者の全数報告の見直しは、全国一斉に実施するなど、一連の緩和策を正式に決

め、「ウィズコロナ」へとかじを切り始めています。まさに新型コロナ対策は転換点を迎えています。

しかしながらウイルスの流行の波は今後も繰り返す可能性はあり、わたしたちは引き続き、感染防止のため自己防衛につとめ、慎重な行動が感染拡大の鍵を握ることを忘れてはなりません。

憂慮すべきはコロナだけではなく。

本年2月に勃発したロシアによるウクライナ侵攻をはじめ、中国の景気減速や大規模なロックダウン等の影響により、世界全体でエネルギーや食糧供給網の混乱、物価上昇が急速に進みました。

日本経済においても為替市場は、急激な円安の進行、2022年に入り物価の上昇が止まりません。食料品をはじめ、日用品、家電、燃料、外食、賃貸など、特に、燃料・資源価格の高騰は、製造コストや、円安による輸送コストなどに大きく影響を及ぼすことから、それがあらゆる製品の値上がりにつながり、私たちの家計を直撃している現状です。

〈取り巻く環境〉

こうした中、自動車産業を取り巻く環境は、足元では昨年から世界全体では回復傾向にあるものの、国内を見ても減少傾向が続いており、長期化している半導体等の資材不足に加え、中国のロックダウンや、物流網の混乱、更にはコロナ感染の再拡大など、スズキグループを取り巻く環境も同様、世界生産、世界販売ともに前期と比較して増えてはいるものの、日本国内を見ても4-6月の販売は前期に比べ減少しており、依然として安定した生産・販売体制には至っておらず予断を許さない状況となっています。

さて、二年間の運動方針の後半1年間について、私の認識を二点申し上げ、挨拶に代えたいと思います。

1点目は〈政治への対応〉についてです。

冒頭触れました通り、7月の参議院選挙においては、加盟組合の役員をはじめ、多くの皆様にご協力を頂きましたこと、改めて感謝申し上げます。現在各単組から今回の組織強化活動の振り返りを行って頂き、現在労連にて総括の取りまとめを行っています。

最先端役員主導で取り組んできた今回の参議院

選挙ですが、コロナ禍で活動が制約される部分も多く、十分なコミュニケーションが取れなかったという課題も残りますが、WEBを活用したり、各単組がそれぞれ工夫をし、議論をし、進めてまいりました。やはり言えることは年間を通じて継続した政治への理解活動が必要である。ということだと思います。さらに言えば、我々組合役員は、組織内議員のことを伝える前に、組合員と身近な話題を拾い、コミュニケーションを図ること、そこから人の輪を作り、人間関係を構築する。選挙以外の活動でもお互いの信頼関係を深めていくことが不可欠であろうと思います。

「私」と「誰か」という個人ではなく「私たち」として仲間意識を持てる状態をつくること。私個人にメリットがなくても、あなたや、みんなの利益が叶い、多くの人が幸せになる。そうしたことで、ゆるやかでも仲間意識が醸成され、組織全体に広がっていく。その先に労働組合がなぜ政治活動を行うのか、が見えてくると思います。

来年4月には統一地方選を控えています。今年1月の中央委員会では私たちスズキ労連の代表として「田口 章」を静岡県議会に、「岩田 くにやす」を浜松市議会に再度送り出すため、両名を推薦することを決定しました。企業の枠で実現できないことを地方議会の場で取り組んでもらわなければなりません。そして私たちも今一度、日常の中にある政治に目を向けて、それらを自分ごととして捉えていく必要があると思います。

2点目は〈職場風土とコミュニケーション〉についてです。

私たち労働組合が活動するにあたり、その原点は、職場の声にあります。スズキ労連では、2018年より全組合員を対象に、組合員意識調査を実施してまいりました。今年4月～5月にかけて実施し

てきた5回目の調査結果では、会社への親しみや従業員としての誇りが上昇傾向である一方、会社の戦略や職場風土を問う設問の回答がマイナス傾向に振れています。コミュニケーションをはかり、会社方針の理解促進が必要と言えます。

このように調査結果からも終わりの見えないコロナウイルスのまん延や、半導体不足、部品供給も不安定で減産せざるを得ない状態や、コロナ禍でコミュニケーションが取りづらくなっていることもあり、組合員自身の将来不安などコロナが大きく回答結果に影響しているのではないかと考えられます。

引き続き、職場での管理職と支部委員、職場委員による労使懇談会あるいは、労使協などの労働組合活動を通じて、より一層、職場内でのコミュニケーションを活性化できるよう取り組みを実施し、誰でも自由に意見が述べられる職場風土を目指していきましょう。スズキグループを魅力ある企業に成長していけるよう、労使が常にコミュニケーションを図り、個人も成長し、強い会社を作っていきましょう。

〈最後に〉

私たちスズキグループの強みは、常にチャレンジ精神を持ちながら課題や施策をやり抜く、まじめさとひたむきさにあると思います。5年後、10年後の将来に向けてスズキ労連全員の知恵と力を合わせ、職場が一致団結して、雇用と生活を守り高めていくための活動と、社会全体に目を向けた活動を展開し、この難局を乗り越え、安心な生活を築いていきましょう。

以上、本日ご参加の皆さんのご支援とご協力を重ねてお願い申し上げます、執行部を代表しての挨拶と致します。ありがとうございました。

スズキ労連結成50周年記念式典開催



労連代表挨拶 武藤会長

スズキ労連は2022年9月17日に結成50周年を迎えました。労連結成にご尽力頂き、現在の民主的な労連の礎を作って頂いた諸先輩方に感謝の気持ちを込めて定期大会の前段に記念式典を開催しました。

また、会社側を代表してスズキ株式会社 鈴木俊宏代表取締役社長より、ビデオメッセージにてご祝辞を頂きました。

スズキ労連結成50周年記念式典

日時:2022年9月18日(日) 場所:ホテルクラウンパレス浜松

報告承認事項

1) 第50期活動経過報告

(提案者:金子 事務局長)

拍手で承認

2) 第50期会計決算報告

(提案者:中野 副事務局長)

拍手で承認

3) 第50期会計監査報告

(提案者:中川 会計監査人)

拍手で承認



1) 第50期活動経過報告
金子 事務局長



2) 第50期会計決算報告
中野 副事務局長



3) 第50期会計監査報告
中川 会計監査人

特別報告

1) スズキ労連2032年のありたい姿 (提案者:金子 事務局長)

拍手で承認

議 件

1) 第51期予算(案)の件

(提案者:中野 副事務局長)

挙手にて採決 満場一致で可決

2) 顧問委嘱の件

(提案者:松浦会長代行)

拍手で承認

○スズキ労連 政治顧問

田口 章 静岡県議会議員

岩田 邦泰 浜松市議会議員

○スズキ労連 特別顧問

古川 正明 労働金庫連合会 副理事長



1) 第51期予算(案)の件
中野 副事務局長



2) 顧問委嘱の件
松浦 会長代行

特別決議

・ 第20回統一地方選挙必勝決議 (案)

(提案者:山本副会長)

拍手で承認



どんなことでもOK!
お気軽にご相談下さい。

スズキ労連
労働相談
窓口

仕事、職場、労働条件、コンプライアンス、人間関係、私生活…
悩みはいろいろあるけれど、職場ではちょっと相談しにくいなあ。

こんな時にはお電話を!

0120-500-073
*月~金 9:00~18:00
相談無料・秘密厳守

【スズキ労連】機関誌に対するご意見・ご要望がございましたら編集部までお気軽にお寄せ下さい。

編集部 〒432-8062 浜松市南区増楽町20
TEL.053-447-3079 FAX.053-440-2838
e-mail : masatos@suzuki-union.or.jp

◇スズキ労連ホームページ◇
<http://saw.gogo.tc/>
*スズキ労連の福利厚生・スズキ労連機関誌
共通パスワード… saw2007

【編集後記】

一部WEB参加ですが3年ぶりの参集の定期大会開催となりました。WEBではお会いしていますがリアルでは初めてましての人、久しぶりに会う人など多くの方にお会いでき、非常にうれしく感じました。会った方がコミュニケーションをしっかりと取れると改めて感じました。まだ、コロナウイルスは少々怖いですが、徐々に参集型で研修会など行えるといいなと感じました。スズギょん